

# 漁況予報 いわし

## 第 1 1 6 号

2003年 3～4 月漁期  
(2003年3月 日発行)

### ＝ 概況 ＝

#### 【まいわし】

主要定置網における1月のマイワシ総漁獲量は550 kgで、前年同期(22トン)の2.5%に留まりました。このうち9割は西湘地区での漁獲で、三浦半島～湘南地区及び東京湾では殆ど漁獲はありませんでした。2月に入っても引き続き西湘地区主体の漁獲が続く、全体で前年同期と同じ5トン程度の漁獲がありました。体長12～13 cm台の中羽1歳魚(2002年級群)が主体となっており、この年級群は低水準ながら当初の評価よりは多くいるようです。

一方、中型まき網は、まとまった大羽の来遊がなかったことから、1、2月を通じて漁獲はありませんでした。

#### 【かたくちいわし】

主要定置網における1月のカタクチイワシ総水揚げ量は、97トンで昨年同期(8トン)を大きく上回りました。このうち9割はマイワシ同様、西湘地区での水揚げでした。2月に入ってもこの傾向は続き西湘地区だけで100トンを超える漁獲がありました。この時期における西湘地区でのこの水揚げ量は過去10年間で最高です。

佐島地区のまき網は、1月はさほど目立った漁獲はありませんでしたが、2月に入り三浦半島周辺にも徐々にカタクチイワシが来遊するようになったことで、餌イワシとして断続的に漁獲しました。

西湘地区でこれほど多くの漁獲があった要因は、2歳魚(2001年級群)の資源量が元々かなり多いことに加え、断続的に相模湾西部海域へ暖水波及が発生したことが重なったためと思われます。静岡県伊豆半島東岸地区の定置網でもかなり多くの漁獲があった模様です。

#### 【しらす】

1、2月はしらすの禁漁期間中ですが、当所では長井～平塚地区にかけて特別採捕許可による試験操業を実施しました。全般的に採集量は少なく、まとまった採集があったのは2月14日の茅ヶ崎沖での15 kgが最高でした。しかし、そんな中、同日、引地川河口で採集されたものは1.5 kgと採集量自体は少なかったものの、全長20～21 mm台の小カタクチシラス主体の群れでした。これは、既に年明けから産卵が一部始まっていることを意味しており、試験操業中も随所でカタクチイワシの濃い魚探反応がありました。相模湾内外に多くのカタクチイワシ大型成魚が来遊していることをうかがわせるものです。このことから、今年の春シラス漁は、平年型(4、5月が漁獲のピークとなる)で推移し、漁獲量も前年漁期を大きく上回ることが期待できます。

＝ 予 報 ＝

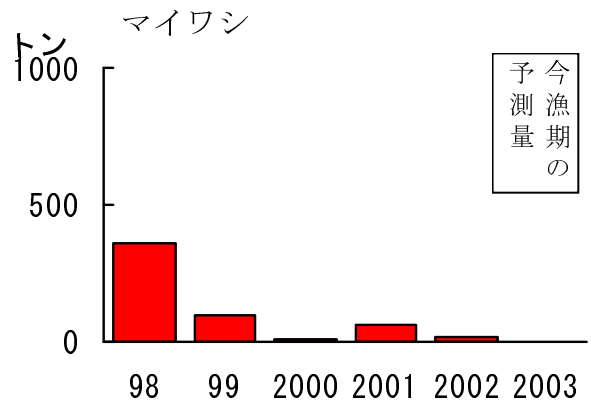
過去5年の3・4月漁期の漁獲量  
と今漁期の予測量

まいわし

今漁期は、中羽イワシ(2002年級群)が漁獲の主体となり、定置網主体に散発的に入網するものと思われます。

今漁期の漁獲量は、約1トンと予測されます。

\* 縦軸：主要定置網+まき網

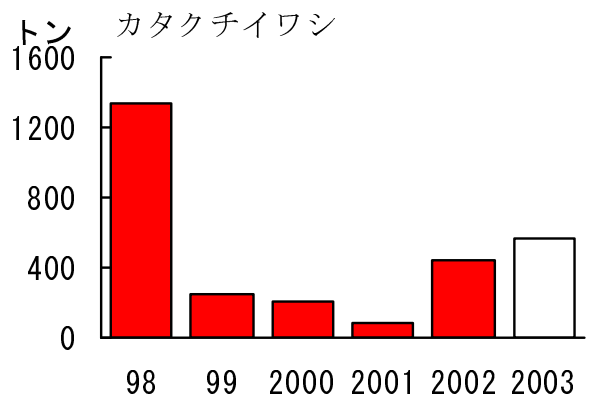


かたくちいわし

今漁期は、大型成魚及び小型成魚が漁獲の主体となります。

資源状態は良好ですので、昨年並みの漁獲量が期待できるでしょう。

今漁期の漁獲量は、約570トンと予測されます。



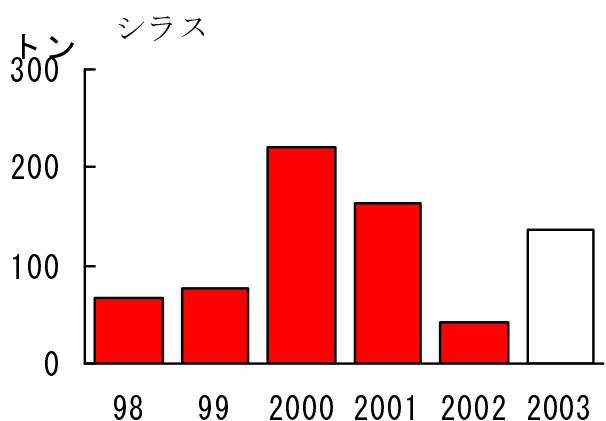
しらす

今漁期は春生まれのカタクチシラスが漁獲の主体となります。

試験操業の結果及び大型成魚の資源量値からして、昨年を大きく上回ることが期待できます。

3月中は低水準で推移すると思われませんが、4月に入り上向くでしょう。

今漁期の漁獲量は、カタクチシラス主体で約135トンと予測されます。



神奈川県水産総合研究所 資源環境部  
三浦市三崎町城ヶ島 (0468-82-2313)